

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日
上場取引所 東

上場会社名 SWCC株式会社
 コード番号 5805 URL <https://www.swcc.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 グループCEO (氏名) 長谷川 隆代
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 戦略本部長 (氏名) 小又 哲夫 TEL 044-223-0530
 四半期報告書提出予定日 2023年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	48,415	△3.2	1,603	△25.6	1,599	△30.0	1,180	△28.0
2023年3月期第1四半期	50,026	10.7	2,156	△16.0	2,284	△12.8	1,640	△4.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 2,039百万円 (△20.9%) 2023年3月期第1四半期 2,578百万円 (2.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	39.48	—
2023年3月期第1四半期	54.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	154,684	68,548	43.8
2023年3月期	156,650	68,390	43.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 67,729 百万円 2023年3月期 67,505 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		35.00	—	40.00	75.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	2.8	10,700	2.2	10,600	2.0	7,000	△25.6	234.26

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 一社（社名）一、 除外 一社（社名） 昭和電線ケーブルシステム(株)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.8「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、添付資料P.8「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	30,826,861株	2023年3月期	30,826,861株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	928,147株	2023年3月期	945,577株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	29,892,797株	2023年3月期1Q	29,854,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、本年4月に経営体制および商号を変更し、新生SWCCとして新たなスタートを踏み出しました。2年目を迎える中期経営計画「Change & Growth SWCC 2026」についても、3事業セグメントを中心とした基盤事業の強化に加え、さらなる成長フェーズへの移行に向けた取り組みを着実に進めております。当連結会計年度の事業計画は、電力工事が下期に偏重することを想定しており、当第1四半期の業績についても想定された進捗で推移しております。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限緩和による経済の正常化や脱炭素社会への動きの高まりに伴い、国内の建設関連ならびに電力インフラ向け市場は堅調に推移しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や円安進行による原材料・エネルギー価格高騰の影響を受けるとともに、家電向けならびに産業用製品については、一部コロナ特需の剥落がみられたほか、自動車関連市場ではxEV向け等で一部需要回復に向けた調整局面が続きました。

このような環境のもと、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高484億15百万円（前年同四半期対比3.2%減）、営業利益16億3百万円（前年同四半期対比25.6%減）、経常利益15億99百万円（前年同四半期対比30.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は11億80百万円（前年同四半期対比28.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(エネルギー・インフラ事業)

国内の建設関連向けは、エネルギー・原材料等の価格高騰が続く中で販売価格見直し等により適正な利益確保に努めながら、堅調な需要を取り込んでまいりました。電力インフラ向けは、特別高圧関連需要は底堅く続いておりますが、前年同四半期と比べると電力工事が下期に偏重しております。これらの結果、当事業における売上高は266億12百万円（前年同四半期対比3.2%増）、営業利益は11億87百万円（前年同四半期対比29.4%減）となりました。

(電装・コンポーネンツ事業)

重電向けの汎用巻線の需要は堅調に推移しましたが、xEV向け高性能製品は自動車減産から回復基調となりながらも調整局面が続きました。これらの結果、当事業における売上高は138億47百万円（前年同四半期対比10.7%減）、営業利益は4億50百万円（前年同四半期対比26.7%減）となりました。

(通信・産業用デバイス事業)

産業用デバイスにおいては、一部コロナ特需の剥落による影響を受けましたが、国内の通信ケーブルは国内生産拠点の再編と適正価格販売の効果に加え、建設関連向け需要が堅調に推移しました。これらの結果、当事業における売上高は70億16百万円（前年同四半期対比10.2%減）、営業利益は2億93百万円（前年同四半期対比67.2%増）となりました。

(その他)

売上高は9億38百万円（前年同四半期対比2.0%増）、営業損失は87百万円（前年同四半期は84百万円の営業損失）となりました。

(注) 上記、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含めておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,546億84百万円（前連結会計年度末総資産1,566億50百万円）で、主にエネルギー・インフラ事業における第2四半期以降の出荷に向けた生産計画にもとづき棚卸資産は増加したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が大きく減少したため、前連結会計年度末より19億65百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は861億36百万円（前連結会計年度末負債合計882億60百万円）で、主に借入金が増加したため、前連結会計年度末より21億24百万円増加しております。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は685億48百万円（前連結会計年度末純資産683億90百万円）で、主にその他有価証券評価差額金および為替換算調整勘定が増加したため、前連結会計年度末より1億58百万円増加しております。その結果、DEレシオは当第1四半期連結会計期間末で57%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日付「2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,037	3,465
受取手形、売掛金及び契約資産	52,686	48,440
棚卸資産	28,162	30,215
その他	7,158	7,737
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	92,032	89,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,422	9,346
機械装置及び運搬具(純額)	7,900	7,671
土地	22,155	22,155
その他(純額)	2,254	2,462
有形固定資産合計	41,733	41,636
無形固定資産	1,488	1,447
投資その他の資産		
投資有価証券	16,297	16,909
繰延税金資産	529	356
退職給付に係る資産	3,441	3,359
その他	2,049	2,120
貸倒引当金	△922	△991
投資その他の資産合計	21,395	21,754
固定資産合計	64,618	64,838
資産合計	156,650	154,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,858	26,076
1年内償還予定の社債	60	60
短期借入金	28,549	24,395
未払金	9,337	8,772
未払法人税等	913	680
工事損失引当金	110	145
事業構造改善引当金	10	—
その他	5,199	5,098
流動負債合計	69,040	65,229
固定負債		
社債	30	30
長期借入金	11,885	13,550
繰延税金負債	1,495	1,539
再評価に係る繰延税金負債	4,161	4,161
退職給付に係る負債	940	965
その他	706	660
固定負債合計	19,220	20,906
負債合計	88,260	86,136

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,221	24,221
資本剰余金	5,887	5,901
利益剰余金	26,239	25,627
自己株式	△865	△849
株主資本合計	55,483	54,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,518	2,119
繰延ヘッジ損益	—	0
土地再評価差額金	6,845	6,845
為替換算調整勘定	3,077	3,343
退職給付に係る調整累計額	580	518
その他の包括利益累計額合計	12,021	12,827
非支配株主持分	885	819
純資産合計	68,390	68,548
負債純資産合計	156,650	154,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	50,026	48,415
売上原価	44,066	42,958
売上総利益	5,960	5,456
販売費及び一般管理費	3,803	3,852
営業利益	2,156	1,603
営業外収益		
受取利息	27	44
受取配当金	16	46
持分法による投資利益	74	50
デリバティブ評価益	119	20
為替差益	—	38
その他	116	44
営業外収益合計	354	243
営業外費用		
支払利息	101	143
為替差損	50	—
その他	74	104
営業外費用合計	226	247
経常利益	2,284	1,599
特別利益		
投資有価証券売却益	158	429
その他	12	—
特別利益合計	171	429
特別損失		
事業構造改善費用	20	11
合併関連費用	—	158
投資有価証券売却損	—	54
特別損失合計	20	224
税金等調整前四半期純利益	2,435	1,804
法人税等	646	575
四半期純利益	1,788	1,229
非支配株主に帰属する四半期純利益	148	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,640	1,180

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,788	1,229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	602
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	437	138
退職給付に係る調整額	33	△61
持分法適用会社に対する持分相当額	369	128
その他の包括利益合計	789	809
四半期包括利益	2,578	2,039
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,425	1,986
非支配株主に係る四半期包括利益	152	52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	エネルギー・ インフラ事業	電装・コンポ ーネッツ事業	通信・産業用 デバイス事業				
売上高							
一時点で移 転される財	24,986	15,512	7,815	912	49,227	—	49,227
一定の期間 にわたり移 転される財	791	—	—	7	799	—	799
顧客との契約 から生じる収 益	25,778	15,512	7,815	920	50,026	—	50,026
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客へ の売上高	25,778	15,512	7,815	920	50,026	—	50,026
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	111	926	172	1,414	2,625	△2,625	—
計	25,889	16,438	7,988	2,334	52,651	△2,625	50,026
セグメント利 益又は損失 (△)	1,681	613	175	△84	2,386	△229	2,156

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業(ネットワークソリューション等)、物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△229百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△211百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)3
	エネルギー・ インフラ事業	電装・コンポ ーネツ事業	通信・産業用 デバイス事業				
売上高							
一時点で移 転される財	26,112	13,847	7,016	894	47,871	—	47,871
一定の期間 にわたり移 転される財	499	—	—	44	543	—	543
顧客との契約 から生じる収 益	26,612	13,847	7,016	938	48,415	—	48,415
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客へ の売上高	26,612	13,847	7,016	938	48,415	—	48,415
セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	105	10,439	112	1,520	12,177	△12,177	—
計	26,717	24,287	7,128	2,459	60,592	△12,177	48,415
セグメント利 益又は損失 (△)	1,187	450	293	△87	1,842	△238	1,603

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業(ネットワークソリューション等)、物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△238百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△235百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発に関わる費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 関連情報

前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
45,223	4,755	47	50,026

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

地域ごとの情報

売上高

(単位:百万円)

日本	アジア	その他	合計
43,880	4,569	15	48,464

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域別に分類しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。